



特集「鉄鋼業を取り巻く独創的な発想に基づく研究・技術開発」企画にあたって

Research and Technology Development Based on Creative Idea Around Steel Industry

会報委員会 特集企画WGリーダー 堤 康一

日本鉄鋼協会会報誌「ふえらむ」の企画の一つとして、毎年12月号は、特集号を組むことにしている。今年は、「鉄鋼業を取り巻く独創的な発想に基づく研究・技術開発」と題して、会報委員会で議論を重ね、11件の特集記事を掲載するに至った。特集記事の会報委員各委員からの推薦の際には、本企画の「独創的」な側面を重視し、商品化や工程化の有無は問わないことにした。11件の記事の多くは、鉄鋼業に強く関わる題材であるが、今年度の企画においては、分野を鉄鋼だけに拘ることにせず、発想の着眼点などを重きにおくことにした。そのような中、これまで、日本鉄鋼協会とは縁の薄かった二人の先生にも執筆やインタビューに快諾いただいた。2014年にイグ・ノーベル賞¹⁾を受賞した馬淵清資先生²⁾、バイオメテックの第一人者である細田奈麻絵先生³⁾には、感謝を申し上げたい。また、同時にこれまでも日本鉄鋼協会や鉄鋼業に関わりの深い方々にも、後生に繋がる技術開発や苦労話も踏まえて執筆いただいた。この場を借りて、執筆者の皆様、会報委員会の全委員の皆様、日本鉄鋼協会事務局の皆様から感謝申し上げたい。

参考文献

- 1) Improbable research, <https://www.improbable.com>, (accessed 2021-09-26).
- 2) 学校法人北里研究所, これが我が学問なり, https://www.kitasato.ac.jp/newsletter/download/ikazuti_no17_6.pdf/, (accessed 2021-09-26).
- 3) 細田奈麻絵: 日本接着学会誌, 51 (2015), 479.

(2021年10月1日受付)